



謹賀新年

今月号の表紙写真は、千代田大橋
堤防から撮影した日の出の様子です。

CONTENTS

- * 平成30年の新春を迎えて
- * 平成30年の年頭にあたり
- * 平成30年産豆類生産状況
- * 営農計画書提出期限について
- * 部会長会視察研修報告
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳
- * 紿油課より
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 今月の 1 枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2018.

1
JANUARY
No.097



平成30年の新春を迎えて

十勝池田町農業協同組合

代表理事組合長 鈴木雅博

平成30年の新年を迎え、組合員の皆様はじめご家族に謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より農協事業にご理解とご協力を戴いております事にも役職員一同、心より御礼致します。

昨年は、組合員各位の高い技術と天候にも恵まれ池田町農協として農産、畜産部門総計で過去最高の生産額を記録する劃一しい年となりました。一昨年の連續した台風による被雪を克服するかのように、當農に取り組んだ成果が現れた年度でありました。池田町の農業は、水害、災害の歴史であります。先人の努力と不

変の魂を思い出し努力をされた組合員の皆様に心から敬意を申し上げます。

基幹作物では、7月24日の小麦収穫から始まり、豆、馬鈴薯、甜菜と、いずれも高品質高収量であり、さらにつておられます事にも役職員一同、心より御礼致します。

昨年は、組合員各位の高い技術と天候にも恵まれ池田町農協として農産、畜産部門総計で過去最高の生産額を記録する劃一しい年となりました。一昨年の連續した台風による被雪を克服するかのように、當農に取り組んだ成果が現れた年度でありました。池田町の農業は、水害、災害の歴史であります。先人の努力と不

乳価の引き上げ、肉牛の高値がつづいており安定した生産が出来ました。飼養管理の技術と労苦が影響を乗

り越える強さでありました。やうに畜産では、第11回全国和牛能力共進会が9月7日から仙台で開催され、北海道代表牛として東台の清水孝悦さん、清見の多田隆弥さん2口の生産者が出品されました。この大会は「和牛のオリンピック」ともいわれ5年に1度の開催

和43年の肉牛導入事業以来、生産者各位が積み重ねてきた努力の賜物であります。今年は、明治維新から150年の節目をむかえ、大切に事業を進めて行く事が重要と考えております。組合員各位のご理解とご協力をお願い致します。

今年は、本町の和牛改良組合のレベルの高さであり、昭和43年の肉牛導入事業以来、生産者各位が積み重ねてきた努力の賜物であります。今年は、明治維新から150年の節目をむかえ、大切に事業を進めて行く事が重要と考えております。組合員各位のご理解とご協力をお願い致します。

中、北海道は団体賞で上位の6席を得るほど評価が高く、そのなかで代表牛として2大会連続出場という実績は、本町の和牛改良組合のレベルの高さであり、昭和43年の肉牛導入事業以来、生産者各位が積み重ねてきた努力の賜物であります。今年は、明治維新から150年の節目をむかえ、大切に事業を進めて行く事が重要と考えております。組合員各位のご理解とご協力をお願い致します。

改革の期限が迫りこれから数年が地域農業の方向性を決めていく大きな流れにて2大会連続出場という実績は、本町の和牛改良組合のレベルの高さであり、昭和43年の肉牛導入事業以来、生産者各位が積み重ねてきた努力の賜物であります。今年は、明治維新から150年の節目をむかえ、大切に事業を進めて行く事が重要と考えております。組合員各位のご理解とご協力をお願い致します。

改革の期限が迫りこれから数年が地域農業の方向性を決めていく大きな流れにて2大会連続出場という実績は、本町の和牛改良組合のレベルの高さであり、昭和43年の肉牛導入事業以来、生産者各位が積み重ねてきた努力の賜物であります。今年は、明治維新から150年の節目をむかえ、大切に事業を進めて行く事が重要と考えております。組合員各位のご理解とご協力をお願い致します。





平成30年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、「健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかげまして、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展尽力をされていることにに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことからの農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によつて、全道的にテントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、JAグループ北海道は着実に前を向い

農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的にJAは、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではあります。が、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行つた『それでも種をまく』とい

て歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わつてないこともあります。将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されるところです。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年がありました。

JAグループ北海道は、北海道の英知を結集し、北

信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図つて参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図つてゐるところであります。本年はその総括年度となります。

今年は、この戌年にあや

り、天候に恵まれ実り多い豊穣の一年となりますよ

う、併せて、北海道農業並

体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と50万人サポートづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

念申し上げ、新年にあつてのご挨拶といたします。



平成29年産豆類生産状況

生育状況

表1 平成29年 池田町作況圃の生育経過

(上段29年、下段平年)

作物	出芽始	出芽期	開花始	開花期	成熟期
大豆	5/30	6/ 3	7/20	7/22	10/ 5
	5/29	6/ 1	7/21	7/23	10/ 5
小豆	6/ 3	6/ 8	7/25	7/27	9/19
	6/ 4	6/ 6	7/25	7/27	9/12
金時	6/10	6/13	7/13	7/15	9/11
	6/ 8	6/10	7/12	7/14	9/ 3
手亡	6/ 8	6/10	7/22	7/24	9/20
	6/ 7	6/ 9	7/21	7/23	9/11

平成29年産は、播種時期の好天に恵まれ、作業は順調に進みました。が、6月は降水量も多く、気温も低めで推移したことから、出芽始、出芽期が平年に比べ、やや遅れる状況となりました。

開花始、開花期は、どの品

表2 平成29年 池田町作況圃の茎長(cm)及び着莢数(個数/m²) (上段29年、下段平年)

茎長	6月15日	7月1日	7月15日	8月1日	8月15日	着莢数	8月15日	9月1日	9月15日
大豆	7.0	17.5	42.9	73.0	82.8	大豆	322.3	552.1	646.8
	7.7	15.7	37.4	67.9	75.7		388.0	517.3	522.8
小豆	1.5	4.4	12.7	33.1	54.9	小豆	150.8	315.2	319.3
	2.9	5.0	13.5	32.7	53.9		180.1	308.4	323.9
金時	3.5	10.7	32.8	54.2	54.2	金時	144.4	126.1	126.1
	5.5	12.3	34.3	47.2	50.1		129.1	133.7	133.7
手亡	4.0	6.4	28.1	55.4	55.4	手亡	164.4	176.2	176.2
	4.3	7.9	28.7	48.4	51.1		154.6	182.4	182.4

種も平年並みとなりましたが、7月前半は連日高温となり、花落ちが見られる品種もありました。また7月後半から8月にかけての低温、干ばつの影響もあり、大豆を除き、成熟期が1週間から10日程度遅れる結果となつており、本格的な収穫は9月16日と、平年より2週間程度遅い収穫開始となっています。

9月の中旬には、低気圧の影響で纏まつた雨がありましたが、成熟期の遅れが菜豆の色流れの影響も少なく終わつたことに繋がつたと言えそうです。

収量につきましては、莢数こそ平年より少なめとなりましたが、粒が大きめであったこと、着莢内粒数が多めであつたことが平年をやや上回る収量に繋がつた年でありました。

平成28年は、度重なる台風により、(株)御座候が契約品種の1

雑豆の需給状況

◇小豆類 (表6、表7参照)

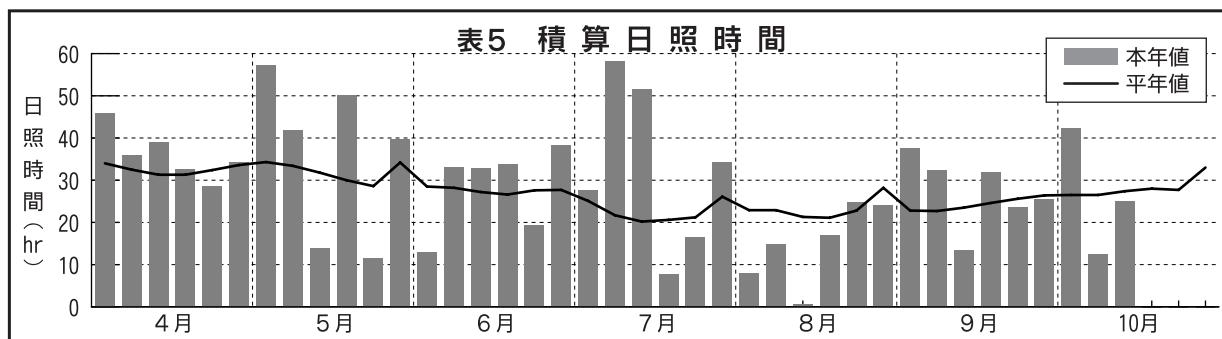
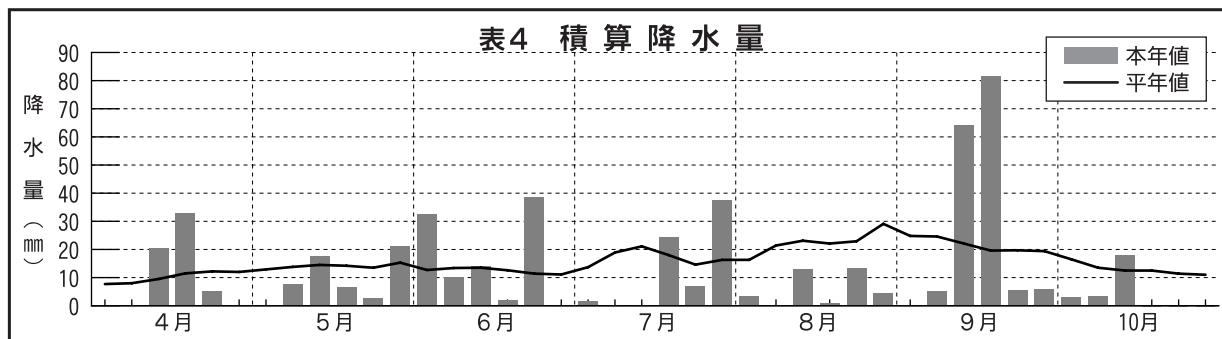
の影響もあり、取引先への供給が満足にできませんでしたが、今後に期待していると声をかけて頂いた取引先に對しても、十分に供給できる環境となりましたこと、生産者皆様の努力の賜物と、感謝を申し上げます。

今後の取引先との関係強化に繋げるためにも、安定供給を継続できますよう、皆様のご理解とご協力を宜しくお願ひ致します。

表3 積算気温

項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	積算
本年	-32	162	382	400	640	567	458	158	2,447
平年	-56	141	308	411	536	595	464	133	2,314
差	24	21	74	-11	104	-28	-6	25	133

※ 積算は5月から9月の合計値

**表6 小豆需給推算**

(単位：俵)

年産	作付面積	单収	生産量	前年度繰越	商品化	期首供給量	年間消費量	次期繰越(見込)
27	21,900	4.53	991,700	970,900	959,300	1,930,200	950,100	980,100
28	16,200	2.79	451,700	980,100	436,500	1,416,600	947,500	469,100
29	17,900	4.72	844,300	469,100	801,800	1,270,900	947,500	323,400

表7 大納言需給推算

(単位：俵)

年産	作付面積	单収	生産量	前年度繰越	商品化	期首供給量	年間消費量	次期繰越(見込)
27	1,394	3.81	53,100	67,300	50,900	118,200	80,000	38,200
28	1,488	2.49	37,000	38,200	35,900	74,100	52,000	22,100
29	1,825	4.18	76,200	22,100	72,500	94,600	52,000	42,600

表8 大手亡需給推算

(単位：俵)

年産	作付面積	单収	生産量	前年度繰越	商品化	期首供給量	年間消費量	次期繰越(見込)
27	2,720	5.15	140,000	81,300	134,200	215,500	81,400	134,100
28	1,200	2.23	26,800	134,100	26,800	160,900	90,700	70,200
29	1,060	5.25	55,600	70,200	52,700	122,900	90,700	32,200

つとして導入を考えている品種の試験栽培を開始しましたが、本年は、試験圃場を増やしきたのおとめやエリモ小豆の一部移行を視野に、説明会を開催し、皆さんから意見を聞きながら進めて参ります。と考えておりますので、ご協力のほど宜しくお願ひ致します。

大納言につきましては、価格が高騰し、年間消費量が大きく減少している状況ですが、アカネ大納言の作付け拡大を希望するユーザーもあることから、今後は需要に基づいて作付けも必要と考えます。

大納言につきましても、価格低迷から、大幅な面積減少と不作により、需給環境は急速に改善されており、早急な作付面積の増反が求められています。

◇手亡（表8 参照）

手亡につきましても、価格低迷から、大幅な面積減少と不作により、需給環境は急速に改善されており、早急な作付面積の増反が求められます。

当JAでは、株御座候と縄手亡の契約栽培が長く続いているますが、契約栽培は、在庫は少なめの状況が続いております。そこで、今後も必要とする品質で安定供給を継続しておきます。

表9 赤系金時需給推算

(単位：俵)

年産	作付面積	单 収	生 产 量	前年度繰越	商品化	期首供給量	年間消費量	次期繰越(見込)
27	6,078	4.03	244,800	104,800	228,000	332,800	173,700	159,100
28	6,040	0.86	51,700	159,100	75,100	234,200	160,100	74,100
29	4,959	4.10	203,500	74,400	192,200	266,300	160,100	106,200

表10 光黒大豆需給推算

(単位：俵)

年産	作付面積	单 収	生 产 量	前年度繰越	商品化	期首供給量	年間消費量	次期繰越(見込)
27	2,225	3.64	80,900	77,300	77,200	154,500	119,300	35,200
28	2,473	2.78	69,800	35,200	67,700	102,900	73,500	29,400
29	2,832	3.95	111,900	29,400	106,300	135,700	73,500	62,200

いりますよう、引き続き、皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

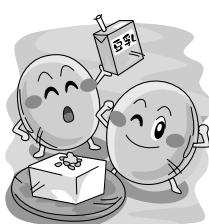
◇赤系金時 (表9参照)
 作付け減少に歯止めがかかっていますが、ない状況ですが、平成29年産の豊作により在庫状況は若干の改善が見込まれます。今後も、作付けの拡大と安定供給により、消費量の維持、拡大が必要な状況です。

◇福白金時 (株)虎屋との契約栽培品種です。年間使用数量が限られていることから、需給バランスを保つのが難しく、平成29年産の豊作により、平成30年産は、作付けて協議を継続していきます。

◇黒大豆 (表10参照)
 平成29年産で面積が回復し、需給バランスは多少改善されておりますが、指標面積までは届いていない状況です。ステパー等の小袋需要の期待に応えることが難しい環境となっていることから、作付けの拡大をお願いしたい品種です。今後も、収穫期の水分測定等の対策を継続していきます。

◇国産大豆
 国産大豆につきましては、流通価格の高止まりが続いたことと、面積の急速な拡大により市況価格が低迷し、平成29年より交付金が減額(平成29年～31年まで)となっています。

現在も、引取が遅延しております。現在も、引取が遅延しております。現状、産地在庫の消化、保管費用の軽減、出口対策の強化等の課題解消が、引き続き求められております。

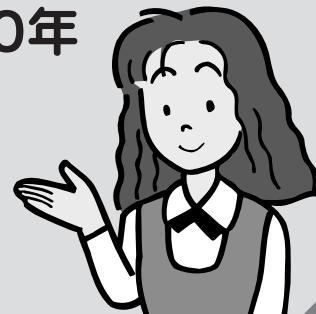


お知らせ

宮農計画書提出期限について

宮農計画書の提出期限は平成30年1月末となっております。

期日までに提出頂きますよう、よろしくお願ひ致します。





サンエー 那覇メインプレイス店

11月19日（日）～22日（水）
の3泊4日で部会長会視察研
修を実施し、部会長7名の参
加のもと沖縄を視察してきま
したので、ご報告いたします。

部会長会視察研修報告

管理部 部長 花本 敦

①サンエー那覇 メインプレイス

沖縄県那覇市松尾にある(株)サンエーの一番大きな店舗である那覇メインプレイス店を視察いたしました。那覇メインプレイス店は北海道物産展、十勝池田町物産展が開催される店舗で、週末の来店客数は6万5千人にもなる大型店舗でした。青果の売り場では、北海道産の馬鈴薯（勇爵、キタアカリ、メークイン）、玉ねぎ、長芋などが販売されていました。(株)サンエーでは、スーパーの他にドラッグストアー、家電、コンビニ、外食、大阪王将、カフェレストラン、東急ハンズなどを運営しています。沖縄の特徴として、大きな企業が進出してこなく、観

光が主の産業となつております。サンエーは沖縄に進出してこなかつた企業の運営を行い業績を伸ばしていました。2016年の沖縄企業売上高ランキングでは、沖縄電力を抜き1位になっています。また、大卒の就職希望ランキングでも1位と企業として安定性が認められています。

②株式会社 ワタリ沖縄支店

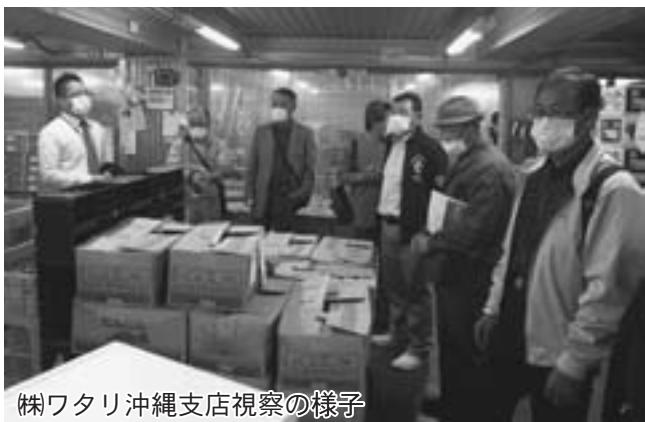
沖縄県宜野湾市(株)サンエー物流センターの2階にある(株)ワタリ沖縄支店を視察いたしました。

(株)ワタリは昭和47年東京都にて渡利商店を創設し青果物販売の営業を開始し、昭和49年(株)ワタリを設立し、昭和56年には北海道営業所を開設しています。平成14年に

沖縄営業所を開設し、今年の4月には、沖縄営業所を沖縄支店に改組しています。(株)ワタリの純売上高は約170億円。平成23年からは海外（タイ）で現地法人を設立し青果物関連商品の輸入販売も行っています。主の業務は青果物関連商品の販売、流通業務、センター運営、加工、国内外の産地開発を行っている青果の卸業者です。(株)ワタリ沖縄支店の取引先は(株)サンエー1社で、年間40億円の販売を行つていました。(株)ワタリ沖



(株)ワタリの会社概要の説明を受けている様子



株ワタリ沖縄支店視察の様子

縄支店では、サンエー65店舗から注文を受け、全国から青果物を仕入れ各店舗に配達しています。取り扱い品目は400品目以上で、200～300品目を取り扱い、ワタリ（物流センター）で小分け（袋詰め）を行い、店舗ごとに必要数を配送しています。また、商品をどのように販売していくか販促にも力をいれ、十勝池田町フェアの際は当JAの生産者や職員の顔写真入りのポスターを作成し、産地と商品をアピールしながら販

売して頂きました。

沖縄は、野菜の自給率が低く产地から距離があり北海道からでは、冷蔵海上コンテナで5日間、東京・大阪からは2日間、近い鹿児島からでも1日の輸送時間とコストがかかるので、鮮度の維持には気を使い、コンテナを倉庫に横付けにして、冷蔵倉庫で保管していましました。室温も商品に合わせて2段階の温度設定を行い、鮮度が落ちないように管理していました。

ネバリスターの販売

沖縄では、長芋を食べる習慣がなく、ネバリスターも5ケースの販売から始まりましたが、現在では40店舗で1日50ケースの注文が入っているとのことです。他の長芋との味の違いに気がついたりピーターが多く、9月に「サンエー那覇メインプレイス」で北海道フェアを開催した時には、試食200食、4tのネバリスターが完売しました。那覇メインプレイスは週末には6万人以上が来店する。沖縄に住む人の週末は、観光地ではなく大型ショッピングモールなどの買い物施設に人が集まるそう

なっています。北海道フェアなどの企画を行うことで、産地の人々が消費者と直接触れ合い、「本当に北海道から来たの?」「ネバリスターは美味しいですね!」など言われ、励みになり、生産に力が入ると思うと教えていただきました。ネバリスターの課題としては、通年販売が出来なく、売り場にネバリスターがない時期があるので、通年販売できる体制が整えばまだまだ伸びる商品だそうです。



選果の様子

選果施設を見学

青果の選果施設を見学いたしました。選果（加工袋詰め等）は、170名のパートが2シフトで、9時から26時まで行い、年間に1万パックを加工していました。包装担当がいて、産地などを間違えないように徹底していました。各選果テーブルには、班長・副班長を決め作業効率が上がるよう作業を行っていました。

③ 沖縄黒糖工場

沖縄県読谷村にある黒糖工場にてサトウキビから黒糖ができるまでの行程を見学いたしました。

黒糖ができるまで

その1 サトウキビを搾る

収穫されたサトウキビを圧搾機にかけ搾る。（全体量の約75%が糖汁で搾れる）

その2 キビ汁のアクを取り除ぐ

一番釜にキビ汁を入れ、煎じながらアクなどの不純物を取り除く。（水酸化カルシウムを加え煮詰める）

その3 キビ汁を煮詰めていく

釜を移して煮詰めて4番釜まで



沖縄黒糖工場視察の様子

煮詰めていく。（飴状になるまで濃縮される）
その4 黒糖をとまして完成
 濃縮した糖汁を鉄枠の中に流し込み、自然乾燥して適当な大きさにカットして完成。

サトウキビの栽培方法

植え付けは、成熟したサトウキビの茎を一節を残して30㌢ずつに切り、挿木の要領で畑に植え付ける。栽培作型には、「春植え」「夏植え」「株出し」があります。

春植え

春植えは、2～3月に植え付け、

翌年の3～4月に収穫する。1年で収穫できるといつ利点があるが、育成期間が短いため、最も収量が少ない。

夏植え

夏植えは、7～9月に植え付け、

翌々年の1～2月に収穫する。翌年の収入が得られないのが難点ではあるが、育成期間が長く、最も収量が多い。

株出し

株出しへは、春植え、夏植えの収穫後、根株を残してそのまま発芽させ、翌年の1～3月に収穫する。

植え付け作業がばぶける上に、発芽伸長が速く生育も促進されるため。

育成期間は1年と短いが、春植えよりは多収となる。株出しへは、普通2～3年間続けられる。

作型別の収穫面積の割合は、春植え10%、夏植え40%、株出し50%となっており、10アール当たりの平均収量は7～8トンで、年間の総生産量は、150～160万トンになります。収穫は、製糖工場の操業に合せて行い、根株を残し

て茎を切り倒し、葉と穂先を落として搬出されます。収穫作業は、ほとんど人手に頼っているため、重労働になっています。

④沖縄の歴史を学ぶ

沖縄の歴史を学ぶために、世界遺産である首里城、沖縄戦の歴史的教訓を学び平和を愛する心を

はぐくむために、平和祈念公園・ひめゆりの塔・旧海軍司令壕でお参りを行いました。また、琉球村や沖縄美ら海水族館、万座毛などを観光いたしました。

3日目4日目と雨にあたりましたが、参加者8名が、何事もな



琉球村での集合写真

く無事、元気に全ての研修行程を終えることができました。参加した部会員の皆様、大変ご苦労様でした。ご協力に感謝いたします。また、視察地が沖縄ということで、初日・最終日は、ほぼ移動だけとなり、慌ただしい中でも充実した研修となりました。

管 理 課

コンプライアンス研修会を開催 ～情報セキュリティ研修も同時開催～



11月27日（月）農協大会議室において、コンプライアンス研修と情報セキュリティ研修を全職員対象に、業務終了後に開催致しました。

コンプライアンス（法令等遵守）は、たった一人の職員でもコンプライアンス違反をすることで、一瞬にしてJAへの信頼が揺らぐことに繋がってしまいます。又、本人や家族などにも重い代償が科せられますので、全職員が理解・実践されなければなりません。

（1）コンプライアンス研修 講師／中央会帯広支所 山元次長

今回の研修では、道内不祥事の発生状況、独占禁止法を巡る情勢、個人情報の漏えいについて研修いたしました。

コンプライアンスでは、当JAのコンプライアンスマニュアルから自らが不祥事に関わらないために日常的に心がけることとして、「不祥事は必ず発見される・不祥事には非常に重い代償が科せられる、業務上のトラブルはすぐに上司に報告、公私のけじめをつける」など、何でも相談ができる風通しの良い職場風土作りが大事になる。不正を正当化したり、不正の機会を与えるような職場の構造的な問題として、「業務を部下に任せきりにしない、部下はきちんとやっているはずだから大丈夫と思い込んで業務を行わない」などを研修しました。独占禁止法と個人情報では、JAで発生した事例を使い、発生原因、課題、改善策など身近に感じられる研修となりました。

（2）情報セキュリティ研修会 講師／管理課 高 雄 紀

情報セキュリティ研修では、管理課の高職員が講師となり、年2回実施しているセキュリティ自主点検の結果報告と、個人情報の漏えい、不正利用などの危険性が高まり様々な被害が発生しているので点検項目の完全実施の徹底をする様に指導しました。社会問題となっているウイルス対策と個人情報保護の重要性について、映像で知る情報セキュリティとしてDVDで研修を行いました。

（記事・管理部長 花本 敦）

市場視察の様子（岐阜中央青果株）



農 産 課

ゆり根部会婦人研修

12月3日～5日に、ゆり根生産者のご婦人4名に参加いただき、池田町産ゆり根の取引先である、岐阜中央青果株・大阪中央青果株の2市場を視察研修いたしました。

両市場では道内他産地のゆり根を見て、町内産のものと品質を比較したり、実際のせりを見学させていただきました。市場担当の方からも有利販売に向けたお話をいただき、来年以降のゆり根生産の参考にしていただける研修になりました。（記事・農産課 森平優子）

金融共済課

振り込め詐欺 防止講習会

11月17日（金）午後2時より農協大会議室において、農業祭のイベントとして今回初めて、池田警察署生活安全課の協力のもと、「振り込め詐欺防止講習会」を開催致しました。お蔭さまを持ちまして、組合員はもとより地域住民にご参加をいただき盛大に開催されました。

講師には池田警察署生活安全課 高瀬係長をお招きし、池田高校の生徒さんが制作した紙芝居を使った講習となりました。紙芝居の場面ごとに注意事項を詳細に説明頂き、とても分かりやすい講習会となりました。

最後に、「何かおかしい？変だ？」と思ったら、まずはご家族に相談するか、もしくは池田警察署生活安全課の高瀬に必ず連絡して下さい！」という言葉で締めていただきました。講習会にご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

（記事・共済課長 三好清司）



池田警察署生活安全課 高瀬係長による講習会

十勝大会に参加された池田町青年部の方々



青年部

第42回 青年部十勝大会

11月27日（月）、今年もホテル日航帯広ノースランドで、第42回青年部十勝大会が行われました。

私は帯広農業高校を出ているので、顔を知っている人も何人かい

たのですが、青年の主張で賞を頂いていた新得町の平一真さんも農業高校の1つ上の先輩で、あれだけ大勢の人の前でしっかりとした発表ができていてすごいなと思いました。

1分間CMでは優秀賞に川西、浦幌、そして最優秀賞は芽室が選ばれ、いずれのCMも素晴らしい出来でした。池田町は食育をメインに作っていて、地域との触れ合いを感じられる良い作品でした。

今年もアームレスリングでは池田町の筋肉自慢、多田隆弥さんが出場しましたが、惜しくも1回戦で敗れてしまいました。「来年こそは優勝！」と二次会会場でハイボールを飲みながら意気込んでいたので、来年に期待しましょう。

懇親会では他の青年部員との交流もでき、こういう場に参加できることは、これから農業をやっていく上でとても大事なことだと思いましたし、とても有意義な一日になりました。

（記事・青年部員 太田一旗）

畜産課

黒牛部会管外視察研修

11月28~29日、12名参加のもと今金町・長沼町の生産現場を見学して参りました。

1日目は和牛改良組合活動、共進会活動の活発なJA今金町管内の黒毛繁殖農場(2戸)を訪問。牛舎見学のほか、9月に開催された第11回宮城全共への出品牛も見学させていただきました。

2日目は長沼町の雪印種苗㈱北海道研究農場を訪問し、黒毛生産施設の見学と、良質牧草生産に関する技術情報を拝聴。飼料の給与方法や内容などについて、詳しくご説明いただきました。

施設見学と情報交換を通じて、子牛生産から肥育牛まで、幅広い飼養管理技術を学ぶことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

(記事・畜産課長 米川 武)



視察の様子

農漁業経営の目標とは

企業では短期的な利益を得ることを求める場合が多く、長期的(10年での長期とは五十年、百年以上を指す)な利益をめざすことは容易ではありません。五十年、百年続く企業が少ないことは、このことを証明しているように思います。

一方、農業や漁業分野においては長期的な利益を展望することが求められています。なぜなら、農業業経営では食料の安定的永続的供給という社会的役割があること、生業として営まれていて子孫に継承する性格のものであること、など長期的な展望の中でその利益を実現することが重要だからです。農業業経営では、長期に渡って安定的に永続的に経営継承することをめざし、その経営方針を定めていくことが大切です。

しかし、現代の「経営論」から見て、農漁業を他の経済分野と区別することは自体が、農漁業の後進性の原因であると指摘されることがあります。農漁業も企業と同様に利益追求を行うことによって、効率性の向上や経営体質の改善を図ること

ができるのという論者がいるのも事実です。農漁業法人組織の中にも、法人として利益を追求することは当然で、組織を維持するためには短期的利益も重視する必要があるとの声もあります。この問題は、現代の農漁業経営者にとって難しい問題であると言えます。

あらためて、農業や漁業経営などのような経営目標をたてる必要があるのでしょうか。他産業と同様に農業や漁業も生産性の高い経営を確立して所得を確保するとともに、家族を養いながら経営の発展をめざすのは当然のことです。と同時に、生命を育む産業としての社会的責任と誇りを土台として、長期的展望の下で経営を営んでいくことが、多くの消費者・国民からの支持を得ることになるとともに、後継者の確保をはかるとともに繋がることを忘れてはならないと思います。

短期と長期のバランスを取りつつ、効率的で生産性の高い経営を実現することができるかどうか、農業や漁業の分野において生き残るための難しい課題が提起されています。

(北海道報徳情報 報徳生活読本より)

協同組合と報徳

No.40

畜産課

あか牛女性部視察研修

12月4日～7日、あか牛女性部（池田3名、函館4名）の皆様と、熊本視察研修に行って参りました。

牧場視察では、牛舎の見学や、給与している飼料などについてご説明いただきました。また、熊本県畜産農業協同組合連合会を訪問し、事務局の方々とお話することができました。

阿蘇・天草・熊本市内の観光では、函館の女性部の皆様と交流ができ、とても有意義な研修となりました。



阿蘇のあか牛モニュメント前にて集合写真

（記事・畜産課 前田実祐）

給油課より

利別SS 得 情報

営農コスト低減に「高品質ホクレンブランドオイル」
春需要オイル早期取りまとめ
申込はお早めにお願いします

リチウムコンプレックスタイプ
LICOREXグリース

熱に強い・荷重に強い

二硫化モリブデンを配合していないので色もきれいですが…耐熱・極圧性能にも優れています!!

特長

- ①一般リチウムグリースより耐熱性に優れており高温箇所に使用できる。
- ②優れた耐水性を有し、一般リチウムグリースのような乳化（軟化）現象が発生しない。
- ③極圧性に優れ高荷重箇所で使用できる。（二硫化モリブデンを配合していない）

今まで、高価なメーカー指定（純正）オイルを使用していたが、低成本で高品質なオイルを探している方へ“安心して下さい”ホクレンオイルがすべての条件を適えます。

エンジンオイルの選び方

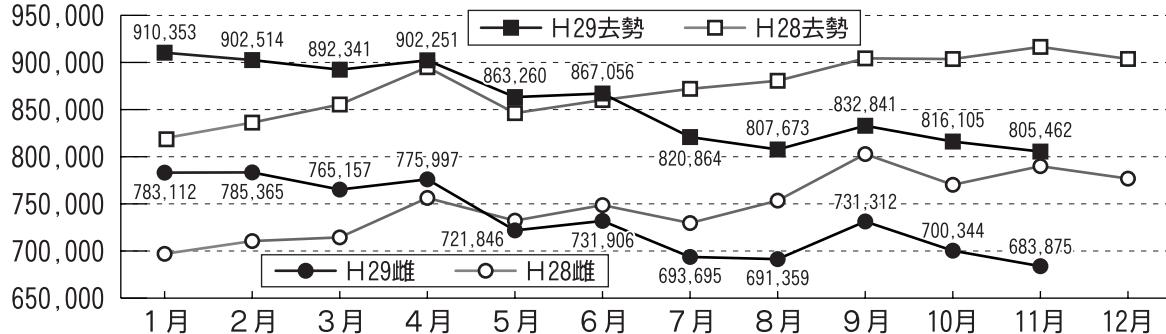
ブランドは1つの方法ですが、品質・粘度・ベースオイルも考えて選ぶのがポイントです。品質を表すAPI規格、JASO規格と使用条件に適した粘度を有するもの、ベースオイルと添加剤がバランスよくミックスされたオイルであることを参考にして下さい。

こまめなオイル交換で機械長持ち



畜産部通信 畜産部 畜産課

(円) 平成28~29年ホクレン十勝家畜市場黒毛素牛平均価格(十勝)



11月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

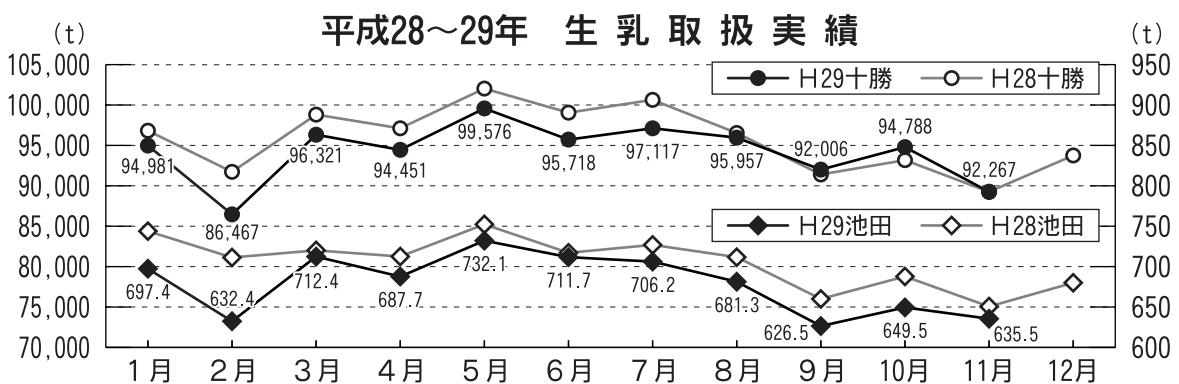
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	652	805,462	—
	マニュアル参加牛	390	816,859	59.8
	マニュアル認定牛	52	877,749	13.3
池田	和牛素牛	37	780,344	—
	マニュアル参加牛	35	783,185	94.6
	マニュアル認定牛	7	798,737	20.0
雌	和牛素牛	445	683,875	—
	マニュアル参加牛	58	685,851	58.0
	マニュアル認定牛	12	763,020	4.7
池田	和牛素牛	30	688,751	—
	マニュアル参加牛	26	674,792	86.7
	マニュアル認定牛	0	—	0.0

11月ホクレン十勝枝肉市場 【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税抜)
4日	黒毛去勢	A-5	2,409
	黒毛メス	A-4	2,233
	黒毛メス	A-3	1,922
F1去勢	F1去勢	A-5	2,380
	F1去勢	A-4	2,220
	F1メス	A-3	1,859
F1メス	B-3	—	—
	B-2	1,040	—
	B-3	1,160	—
	B-2	1,060	—



平成28~29年 生乳取扱実績



11月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
6日	乳牛育成	489	511,434
	乳牛初妊	467	872,286
8日	乳牛経産	71	438,754
	乳牛初妊	514	840,471
28日	乳牛経産	83	415,397

11月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛才ス初生	118,374	+ 7,629
F1才ス初生	254,824	+ 11,329
F1メス初生	161,061	+ 13,062
廃用牛	164,582	+ 344



東台地区
むら せ さえ み
村瀬冴美さん
(33歳)

Vol.43

未来人

Mirai Bito

プロフィール

父・敬さん、母・とみ子さんと3人で畑作を営む。

小麦、小豆、金時、甜菜、馬鈴薯を作付けする。

「趣

味は裁縫です。作業着なども自分で作つたりしています。」と話してくれたのは今年で就農2

年目を迎える村瀬冴美さん。札幌の専門学校を卒業後、裁縫関係の仕事についた。「自分は一人っ子なので、後を継がなければ」という思い

と、裁縫に関する仕事をしたいという思いで葛藤していました。」と話す。そんな中、ふと読んだ農業雑誌

で、農業をやりながら別の仕事をもしている人の紹介記

事を見て、「自分も農業をやりながら冬には裁縫の仕事ができるのではないか?」

と思い、就農することを決意した。

農作業について聞くと、
「小さいころにピートトランクターも運転したことなく、わからないことはあります。でも、この子達(作物)に栄養がしつかり行くように、日が当た

るようになります。」と思いつながら行うと頑張れます。」と話す。

冴美さんは独身でカバンや小物を作つてみたい。自分で捕つた鹿

は実技の練習を行っていく予定で、「今年のうちに取得できるよう頑張りたい。」と話す。

冴美さんは、「フレッシュ農業人を励ます集いで、青年部活動の話を聞き興味を持ったからです。」初めて参加した食育事業では、「知り合いがいなく、すごく緊張

がら豆腐作りができる、良かったです。」と笑顔を見せた。

青部活動について聞くと、
「小さいころにピートトランクターも運転したことなく、わからないことはあります。でも、この子達(作物)に栄養がしつかり行くように、日が当た

るようになります。」と思いつながら行うと頑張れます。」と話す。

冴美さんは、「フレッシュ農業人を励ます集いで、青年

部活動の話を聞き興味を持ったからです。」初めて参加した食育事業では、「知り

合いがいなく、すごく緊張しました。」と苦笑い。先日行われた食育事業の豆腐作りでは、「子供と保護者

の方々と楽しくお話をしながら豆腐作りをしていました。」と話してくれました。



青年部食育事業での豆腐づくりの様子

理事会の動き

第10回 <平成29年12月26日>

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 豆の集荷状況について
- (3) 組合財務の現況について
- (4) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (5) 11月末基準仮決算について
- (6) コンプライアンスプログラムの取組状況について
- (7) 内部審査及び内部監査報告について
- (8) コンプライアンス事故報告について
- (9) 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- (10) 平成29年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について
- (11) 平成30年度新規採用内定者について
- (12) 平成29年度事業評価結果について
- (13) 固定資産の取得について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の資格変動並びに出資金持分譲渡承認願いについて
- (2) 組合員の相続による出資金持分譲渡承認願いについて
- (3) 自治監査報告書について
- (4) 紙と規程の一部改正について
- (5) 信用供与等限度額の設定について

★ 協 議 案 ★

- (1) 十勝地区農協青年部協議会海外研修視察への参加について
- (2) 第7次農業振興計画について
- (3) 総会までの行事日程について
- (4) 平成30年度重点項目（案）について
- (5) 平成30年度固定資産取得計画（案）について
- (6) 金融部営業時間の変更について
- (7) 冬期地区懇談会の開催について
- (8) 年末組勘整理の見込みについて

今月の1枚



フレッシュユミズ忘年会

今月の1枚は12月11日（月）に行われた、フレッシュユミズ忘年会での1枚です。

ゆたかで開催され、食事の後にはbingo大会も行い、くじ引きでプレゼント交換をして大いに盛り上りました。

新年明けましておめでとうございます。年末年始、皆様いかがお過ごしでしょうか。初夢で見ると縁起が良いもの「一富士二鷹三茄子」があります。実はこの続きがあり、「四扇五煙草ハ座頭」となるそうです。「富士と扇」は末広がりで子孫や商売などの繁榮、「鷹と煙草の煙」は上昇するので運気上昇、「茄子と座頭」は毛がないことから怪我ないと家内安全を意味していることがあります（諸説あるようです）。毎年、「今年は何を見るかな?」と思いつながら寝ますが、未だに一から六どれも見たことがありません。今年こそ一つくらいは見たいものです。

平成30年、病気や事故もなく豊穣の年となります事をご祈念申し上げます。（杉山）

編
集
後
記